

おおつち 社協会報

No.82
2020.11

【編集・発行】
ae 社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会
住所：岩手県上閉伊郡大槌町上町1-1
TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512

赤い羽根共同募金運動がはじまりました！



「更生保護女性の会」のみなさんが実施した街頭募金。
子どもたちも募金にきてくれました。



おおちゃんもマスクをして頑張りました！

主な記事

P2 赤い羽根共同募金について

P4 地域見守り支援拠点

「こ茶っこ」について

P5 こづちちゃんが行く

表紙の写真

10月1日から募金運動が始まり、町内で協力を呼びかけています。

今年の募金活動は、新型コロナウイルス感染対策を行いながら実施しておりますが、例年と変わらず、たくさんの皆さまからご協力をいただきました。

今年も、皆さまのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。
赤い羽根共同募金の使いみちは、次のページをご覧ください Q



赤い羽根共同募金 の使いみちって？



令和2年度目標額 2,667,000円

令和2年度に皆さまにご協力いただいた募金は、令和3年度の地域福祉活動費として岩手県共同募金会から地域に配分されます。

大槌町では、このような事業のために役立てられています。

令和3年度 地域福祉活動費として大槌町社協へ配分	事業内容		金額
	高齢者福祉	お茶っこの会助成事業	
あんしん助っ人便事業（買い物支援事業）		10,000円	
大槌町老人クラブ連合会活動助成		231,000円	
障がい者福祉	福祉団体活動助成（大槌町身体障害者福祉協議会）		100,000円
	福祉団体活動助成（大槌町言葉を育む親の会）		12,000円
児童・母子福祉	社会福祉協力校指定事業		252,000円
	地域福祉	ボランティアリーダー養成講座	
ボランティアセンター運営費		100,000円	
ボランティア活動保険助成		30,000円	
福祉団体活動助成（大槌町民生委員児童委員協議会）		80,000円	
大槌町社会福祉大会運営費		277,000円	
住民支え合いマップ作成事業		10,000円	
役員研修会		150,000円	
社協会報・社協だよりの発行		180,000円	
ホームページの運営		130,000円	
引きこもり世帯への支援事業		50,000円	
合計			1,762,000円
岩手県内の福祉施設の整備・大規模災害の発生に備える積み立て・岩手県内の共同募金運動推進経費等（※岩手県共同募金会が実施）			905,000円
合計			2,667,000円

～募金を活用した事業紹介～



ボランティアセンター
憩いの場づくり

町民の散歩コースとして親しまれている城山公園散策路は、春～秋にかけて草木が生い茂り通行の妨げになっています。町民の生きがいづくりや体力づくりにつながるため、草刈り等の環境整備を行います。

ボランティアセンター キャップハンディ体験



「障がいのある状態」を擬似体験し、障がいのある方が感じている環境や気持ちについて理

解を深めてもらう活動です。自分自身や身近な人の立場として考え、安心して暮らせる地域づくりを考えるきっかけとして実施しています。



お茶っこの会助成事業

地域の高齢者が外出するきっかけや、健康・生きがいづくり、孤立防止などにつながるよう、サロン活動を実施する「お茶っこの会」へ活動費を助成します。

赤い羽根自動販売機設置主様を募集しております

～赤い羽根自動販売機で社会貢献～

岩手県共同募金会では、協賛各社・自動販売機設置主様のご協力で、飲料の売り上げの一部を赤い羽根共同募金にご協力いただく「赤い羽根自動販売機」を推進しております。

設置を希望する方は、大槌町共同募金委員会までご連絡ください。



飲料の売り上げから数パーセントが募金されるシステムです。募金の割合は、協賛企業と設置主様が設定します。

助成金をご活用ください

令和2年度共同募金による「令和3年度福祉のまちづくり支援事業」

岩手県共同募金会では、地域で身近な課題に取り組んでいる団体や、住民に向けた福祉サービスを行う団体の「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」活動へ、住民参加による福祉コミュニティづくりを推進するため、助成事業を実施します。



- **募集期間** 令和2年12月15日まで
- **事業実施期間** 令和3年度（令和3年4月から令和4年3月）
- **助成対象団体** 地域福祉の向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体や、町内会・自治会等任意の住民グループ
- **助成額** 1万円から20万円まで
- **対象経費** 幼児・児童、高齢者、障がい者やその他住民を対象に行う、地域での福祉活動に直接使用する機器・用具の購入経費
- **申込・問い合わせ先** 大槌町共同募金委員会（0193-41-1511）

「令和2年7月豪雨災害」義援金へご協力をお願いします

九州地方をはじめ、各地で人的被害や住宅浸水、家屋の倒壊など、甚大な被害が発生しました。

皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

- **受付期間** 令和2年12月28日まで
- **主催** 中央共同募金会
- **受付窓口** 大槌町共同募金委員会で受付いたします。
住所：大槌町上町1番1号
（大槌町社会福祉協議会内）仮設事務所2階
電話番号：0193-41-1511
受付時間：午前8時30分～午後5時15分（平日）

【募金箱を設置しています】

役場保健福祉課、マスト総合窓口、小川旅館、さんずろや、三陸花ホテルはまぎく、みずかみ大槌店、一頁堂（マスト店）、ファミリーショップやはた、セブンイレブン御社地店、おしゃっち、ねまれや、上町ふれあいセンター



税制上の取り扱いについて

この義援金は、税制優遇措置の適用対象となります。希望する場合は、主催する共同募金会が発行する領収書が必要となりますので、窓口でお申し出ください。

社協会費のご協力ありがとうございました

社会福祉協議会会費のご協力をいただいたところ、多くの方々にご賛同いただきました。

住民の皆さまからの温かいご理解とご協力、大変ありがとうございました。

会費は、暮らしの復興に関する事業や福祉のまちづくりに活用させていただきます。

会費合計

3,806 世帯
1,905,000 円

～ご寄付のお知らせ～

【寄附金一覧】

○株式会社ブリッジ ……100,000 円

○鈴木 正 ……300,000 円

【寄贈品一覧】

○小野寺 哲也 ……食器・タオル・シーツ

○植田 俊郎 ……バリアフリースケール1台

○公益社団法人 24 時間テレビチャリティー委員会 ……洗えるマスク 100 枚

令和2年6月から9月までの受付分をご紹介します。
ご支援いただきました皆様ありがとうございました。
（敬称略）

地域見守り支援拠点「こ茶っこ」再開！

新型コロナウイルス感染防止のため休止していた、生活支援相談員による県営上町アパート集会所で行っていた「こ茶っこ」を7月から再開しました。

手指・接触箇所の消毒、検温、こまめな換気、密集しないように座席を離す対応を行いながら開催しています。

※新型コロナウイルス感染症に係る生活支援相談員マニュアルに基づき支援を実施しています。



対策1
使用前と使用後に接触箇所の消毒を行います。



対策2
参加者の検温と、一定の距離を保つため、席の間にぬいぐるみを設置しています。



対策3
お茶っこ体操（軽運動）、「だあすこ」の移動販売などの介護予防や生活支援のプログラムを行っています。



各地区で休止していたお茶っこの会も、ソーシャルディスタンスを心がけ、徐々に再開している地区もあります。「ウイズ・コロナ」を合言葉に、新しい生活様式に併せた形でのお茶っこの会の再開を心待ちにしています。

防災について学ぼう！避難所運営ゲーム（HUG）の体験学習

HUGとは？

H (hinanjo…避難所) U (unei…運営) G (game…ゲーム) の略

令和2年10月16日（金）大槌学園9年生65名を対象にボランティアセンター職員が講師として「避難所運営ゲーム（HUG）」の体験を行いました。

ゲームは、自分たちが避難所の運営者という立場で、避難所を適切に運営する立場を想定して行います。

体験した大槌学園の生徒からは「災害時には日頃から地域の人たちと顔を合わせ、つながっていることが大切だということが分かった」「避難所の運営は大変だということが分かった」などの感想がありました。





今日は、臼沢自治会が設立した「臼沢どんとはれ劇団」の代表 東梅英夫さん、劇団のみなさんにインタビューを行いました。

■どのような活動を行っているの

臼沢地区の住民が主体となり寸劇を交えた紙芝居の活動を行っています。昨年の10月から活動を開始し、今年の8月に地域住民の前で初披露しました。現在の劇団員は12名。週に一度、臼沢 寺野ふれあい集会所で練習しています。

■活動のきっかけ

震災後、臼沢 寺野地区への移住再建により、世帯数が倍の約400世帯となりました。

それを機に、地域の郷土芸能である臼澤鹿子踊りに次ぐ、「臼沢 寺野地区といえればこれ!」というものを住民みんなで作りたいとの思いがあり、町の地域支援コーディネーター、岩手大学の方々の協力のもと、現在の活動に至りました。

■大変だったこと

大変だと思うことは特にありませんが、紙芝居の練習をしていると、劇団員から良いアイデアがたくさん出るため、都度台本を作り変えないといけないので、劇団員分の台本を印刷するのが大変です。

■これからの目標

現在の作品は一作ですが、これからは二作、三作と皆さんの前で発表できる作品を増やしていきたいと思っています。

また、紙芝居を地域の人たちと協力して、絵、色を塗るところから手作りしていきたいです。

全てにおいて、今の形が完成形でないため、常に地域の皆さんの声、アイデアを取り入れながら作っていきたく感じています。

■みなさんに伝えたいこと

現在はコロナの関係で活動が制限されていますが、終息した際には、臼沢 寺野集会所を拠点に定期的に紙芝居を開催していきたいと思っています。

現在の活動に興味がある方は、町民であればどなたでも歓迎します。一緒に楽しみましょう。



みなさんが笑顔でお話してくれる姿が印象的でした。

このバトンを何十年も先までつなげてほしいです。



つづく

幸せの写真館

ギョギョしたいというので缶を逆さまにして挑戦するも…力およばず!



3歳と0歳の仲よし姉弟です♡



投稿写真大募集!!

家族、ペット、風景など…幸せを感じる写真やホッと癒される写真を募集しています。

写真データを下記のアドレスに添付して、写真の一言コメントも添えてお送りください。

otsuchi-soumu@otsuchi-shakyo.jp

友人が入籍しました! 友人のリングフォトに幸せな気持ちになりました♪



おしらせ



日常生活自立支援事業のご案内

高齢の方や障がいのある方が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、また、それにともなう日常的金銭管理などを行っています。



☆対象

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方

☆主なサービス内容

公共料金等の支払い及び福祉サービスの手続き代行等

☆利用料金

相談は無料。契約後は1時間当たり1,300円

●相談日 毎週月曜日～金曜日

●時間 午前8時30分～午後5時30分

●住所 釜石市大渡町3-15-26(旧市民病院8階)

●電話 ☎ 31-1331(直通)

たすけあい金庫貸付事業

●内容

たすけあい金庫貸付は、生活費や医療費などが一時的に必要となった世帯にお貸しする制度です。

申し込みを希望される方は地区の民生委員、又は当協議会へご相談ください。

●対象者 町内在住の低所得者

●貸付額 1世帯1件の貸付で5万円以内

●償還期間 10ヵ月以内 ※要相談

生活福祉資金貸付制度の紹介

生活福祉資金貸付制度とは、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

ご利用いただける世帯は？

【低所得世帯】

・世帯の収入が一定基準以下の世帯

【障がい者世帯】

・障がい者世帯(知的・身体・精神)

※障がい・療育手帳の交付を受けている者の属する世帯となります。

【高齢者世帯】

・65歳以上の高齢者の属する世帯(注)所得制限有り

【生活保護世帯】

・生活保護を受けている世帯

貸付金の種類は？

- ①総合支援資金…就職までの間の生活費
- ②福祉資金…医療費用、一時的な生活費など
- ③教育支援金…進学費用、就学支度金など
- ④不動産担保型生活資金…居住用不動産を担保に生活費の借り入れを行います。
- ⑤生活復興支援資金…東日本大震災で被災した世帯に対する貸付

お問い合わせ 大槌町社会福祉協議会 ☎ 0193-41-1511

一人で悩まず、ご相談ください。

「くらし・しごと相談所」では仕事や金銭の悩みについて、一人ひとりの状況に合わせて、解決のお手伝いをします。

ステップ1

悩みごと、心配ごとをお聞かせください。相談支援員と一緒に課題を整理していきます。

ステップ2

課題を解決するためのプランを作りましょう。具体的な目標を一緒に考えていきます。

ステップ3

課題を解決しながら、生活の安定・自立を目指しましょう。目標が達成できるまでサポートします。
※必要に応じて専門機関などにおつなぎし、連携してサポートします。

各種窓口への同行、手続きの支援、申請書などの記入サポート、生活や家計の見直しなど、一人ではどうしてもよく分からないことをお手伝いします。

大槌町社協 くらし・しごと相談所

電話 0193-42-4355

FAX 0193-41-1512

受付時間 午前8時30分～午後5時15分
(土日・祝祭日・年末年始を除く)

大槌町社協ホームページ情報

町民の皆様には社会福祉協議会として、よりよい情報をお届けできるようホームページを開設しています。パソコン、携帯電話などでご覧ください。

携帯サイト

携帯電話でもサイトの一部を公開中です。



<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

編集後記

秋が深まってきた今日このごろ。新型コロナウイルスの感染者がまだ出ていることに油断できない状況ですね。
徐々にインフルエンザも流行してきますので、安心して過ごせるようにウィルス対策に気を抜かず、みんな頑張り続けて乗り越えていきましょう。